多彩な統一行事

港務家族総出の団結集会

港務支部の団結統一行事として、〝団結家族会〟が五月七日延命公園で行われた。

文字通り家族ぐるみのレクレーションで、会場は組合員を中心に主婦会、子供たち、おじいさんおばあさんと一家をあげて参加した。

会場を第一会場と第二会場にわけ第一会場を延命公園入口の野外音楽堂、第二会場は同じく延命公園中段の興亜広場にもうけ、第二会場は主として児童たちによる運動会が行なわれた。

統一レクレーションにふさわしく第一会場では敬老会もともに行なわれ、お年寄りたちは久しぶりに青葉のかおる延命公園に孫たちに手を引かれて参加、老いの顔はこの日は晴ればれと輝いていた。

そくそくつめかける家族たちで野外音楽堂はたちまちギッシリとつまり、労働歌合唱、実行委員長あいさつのあと支部長あいさつ、来賓として組合本部から灰原書記長も出席して、団結行事を祝うあいさつをおくった。

演芸の部は「うたごえ」からはじまった。各支部のうたごえが一本にまとまった三池労組サークル協議会が、とくにこの統一行事のために参加してうたってくれた。うたがつきつきとすすみ、久保さんのうたにうっとり聴やかだった会場も一しゅん静まりかえる。

会場前列の東側に席をしめているお年寄りたちは、涙をながしながらじっと歌に耳を傾けている。

サークル協議会のうたごえにつづいて、主婦たちもうたごえをひろうした。

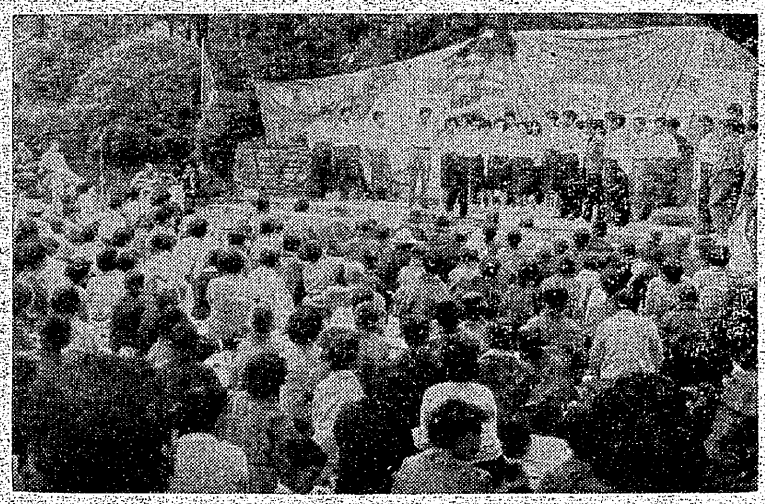
特別出演してくれたセンター合唱団の映楽版をはじめ、新港学生会の「日本よいとこ」「民謡をたづねて」がみんなを大いに楽しませ拍手をあびた。

三池闘争の中で生まれた〝炭ッ子グループ〟も出演して「がんばろう」などを演じたが、子供とは思えぬウマさに、会場もしばしうっとり、破れるような拍手をあびた。

婦人部による「新炭鉱ぶし」などの踊り、三つのうた、とび入りもあり、あとでは松藤支部長も踊りに引ッ張り出され、汗を流しての熱演も見られるなど、会場は終始笑いと拍手にうづまり、団結行事にふさわしく明るいふんいきの中で団結をかためていった。

なお、このあと「福引き」の発表もあり、思わぬ大物賞？を射止めてニッコリする人が出るなど、たのしい団結行事が高すぎ、大きな成果をあげて終了した。

いま各支部、各地域で団結行事がきかんだ。廿一日には三川支部と主婦会合同の大運動会、宮浦はソフトボール大会を計画している。



目にしみる青葉の下で楽しい団結行事

〝団結大運動会〟

新らしい着想で大成功

【馬渡分会発】宮浦支部馬渡地域分会、主婦会ではメーデー前日の

として四月三十日天草小学校で家族総出の文字どおりの団結大運動会を行なった。組合支部、宮浦主婦会、金日自労早鐘分会、福岡からオルグの九大生宮橋さん、神山さん、蓮尾政治局員、三川主婦会五島支部長ら三名、商店街など三十余名の来ひんをまねき午前九時開会した。

子供の「おてつないで」組合員、主婦の「炭ほる仲間」の合唱をかわきりに元気いっぱいはじまった。全国の仲間からおくられたカンパ物資の帳面、鉛筆や廃品回収によって得た四、六三五円を基金に差のない賞品が用意された。

子供会三七七名が協力し、トルコ帽の団体競技でも、アメ食い、仕度競走、障害物個人でも、日ごろの差別や切磋しをはねとばす大人の明るい笑顔のふんいきのなかを一生懸命走る。

青年、女子青年たちが恋人さがし、花嫁さがしに熱中すれば、組合員の団体競技では、デモ・レースや、牛のようにねばりづよくたたかおうと「牛にひかれて善光寺まいり」などに各一〇〇人余の出場者が集中した。

主婦も赤旗を手に四人一組で協力して、保安確保、差別排除、全国の仲間に感謝、頑張ろう等五色の布をとびこえてくるボールをうけとめる「団結」に一四八名が参加し、ボールけり、大原女、鶴の一声で拍手カッサイをあびた。

来ひんも牽運競技や「お静かに」で拍手に調子づいてひつくりかえる張切りかた、演目鶴や特別番組の「人生航路」では夫婦同伴や恋人参加で大九組が出場した。

組合員二一〇名、主婦会一九八名子供会三七七名、他家族約二〇〇名の参加で延二、八〇〇名の競技は一般小学校の運動会以上ににぎわい、会社や第二組合員をおどろかせ元気一ぱいの行事をして交通を増進しようとなまり、競技種目も親睦の団体を主にして、見てたのしむ新しい面白いものと地域、主婦、青年会、子供会が討議と周到な準備をして、みんなが一体になったことです。

そのうえ好天気に恵まれ、老人来学年児や競技参加がふえ、うれしい悲鳴の延べ二、八〇〇名（申込み二、四九〇名）の参加者となったものです。

とくに二重出場者や、よつばらい、賞品に苦情をいう人がいなくて、気持のかよいあった人ばかりだったこと、さらに初めての運動会で時期もよかったとおもわれます。

就職対策だより

職員・事務員募集

就職対策部では、燃料企業（青葉家庭燃料販売所）発足のため、つぎの要領によって元気のよい若者を採用することになっています。

一、男子廿五才未満の人　二名
○学歴は問いません。
○自転車を持っている人
○四山、三川支部在籍組合員の息子さん
○仕事は配達関係です。

二、女子　一名
○年令は問いません。
○簿記経験のある人

希望者は本部職対部か支部職対部に五月二十五日まで申込んで下さい。なお、この燃料企業は六月一日、大牟田市青葉町で発足予定。

石油、プロパンなどを主体に扱います。賃金その他の条件については、各支部職対部に問い合せて下さい。

× × ×

一一二三日ストに勝利の終止符！

一一二八年一二月三日―

「部分スト」という絶妙の戦術が効を奏して、激闘百十三日を記録する企闘は、わが方の一方的勝利によって終止符がうたれた。

十一月晦日、宮川・古賀中闘をむかえて開かれた中央委では、協定書を確認、十三月一日から細部扱いの山元協議に入り、徹夜交渉の結果、三日午前二時妥結点にたつしたのである。

そうなるとまた多忙なのはこちらである。早朝から起された私は凍つていた身体にスイッチをいれられて、ブルンと五体を身震いさせながら車庫からでる。ヤマの三番方坑、一番方入坑にたいする情宣である。

夜どおし坑底ではたらいた仲間が、疲労の見わけのつかぬ顔で次々に坑口にでてくる。みんなひどくやつれ、疲れきった顔で、不気げんである。そのふきげんな顔が、三日にわたる、われわれの血の闘いは報いられました。私たちはいま、皆さんにたいして、この報告を申しあげながら、わきあがってくる涙をどうすることもできません。―あゝ、われわれはついに―

「おとなの童話」

〝はたかぜ〟物語 (7)

感動でマイクがとぎれると、期せずして、次々に人車をかけ降りる仲間たちの口から、

「やったなあッ！」

「勝ったぞう！」

「万才ッ！」

に感動を最大限にブチまけた絶叫がつづく。全身を電流のように走りつきぬける歓喜、感激、しばらく動くのも忘れてマイクの方を凝視する、その目から、やがてキラキラと光る涙が―。

国鉄熊本地本へ

―「はたなぜ」とピケ指導―

一つの闘いが終止符をうたれたところから、私たちの次の闘いはじまっている。

期手」・五カ月分を要求して闘っている国鉄労組は、闘争の最終段階にたつてユニークな「十割休暇戦術」をうちだしたが、七日熊本地本ではピケ破りや官憲の介入などを考慮し三池労組へニュース・カーの支援と、ピケ指導を要請してきた。

企闘を支援してくれた仲間である。ただちに要請にこたえる。こちらは浦川さんが総大将で支部より十名の応者を加えて、八百名の国鉄ピケ隊の頑問格で、熊本駅頭に頑張った。

午後三時、期手が一応の妥結をみると、こんどは熊本県総評の要請で全専売、全林野、全電通、全食糧などを歴訪して、企闘の礼を述べながらの明るい交歓を重ねた私たちにはめったに訪れないのびやかな一日であった。

（述・岡本、記・加藤）

温度の急変でさらにおそ気だち、ふるつと身震いする。故宣部長がすかさず、

「三番方坑坑のみなさん、大変ご苦労さんです。

昨夜の団体交渉で、会社はついに首切りを撤回しました。百十一日間の闘争の結果、ついに「万才ッ！」

メーデー文芸入選作きまる

三池労組から多数上位入選

大牟田地区メーデー実行委員会は、はじめてのこころみとして「メーデー文芸」として短歌、俳句、川柳を募集していたが、このほどその入選作がきまった。

三池労組関係では短歌俳句の部で多数が上位に入選した。

それぞれの入選作品は次のとおり。

短歌

選者＝岩本宗次郎　山本和夫　井上生二
片桐　伊作　長山不美男

【福岡県知事賞】
三池労組宮浦支部　福山　まさる
メーデーの列より抜けて入坑の地下足袋をはく二番方われは

【大牟田市長賞】
三池労組四山支部　堀前　春男
離職せし友の贈りし分会旗われらが先頭にメーデーにゆく

佳作　一位　三池労組宮浦支部　前田　義則
一才の来穂子メーデーに照らされてわれと三つめの冰菓子食ふ

〃　二位　一般　杉井　道子
常せわしき調理場にわが和みをり明るき風船メーデーの記事よみて

〃　三位　三池労組宮浦支部　加藤　浩二
しあわせの日の来ることを信じつゝメーデーの日も地下に働く

〃　四位　全逓労組　高田　良春
あたらしき明日を信ぜん子がかざす赤き風船が眼に泌みる朝

〃　五位　三池労組宮浦支部　中村　くにひさ
妻も子もともにメーデーの列にあり労働歌らたいつゝ汗ばみていく

俳句

※選者

選者＝白谷水畑

【実行委員長賞】
三池労組宮浦支部　高むく　竜生
メーデーにゆぐネグタイを結びつゝ去年の烈しきストを思えり

【西日本新聞社賞】
東圧労組　江島　淡水
日曜大工早く切り上げメーデーに集う手足の汚水を落す

佳作　一位　自由労組甘木支部　末吉　実吉
来年のこの日までには帰れ友共に祝わん統一メーデー

〃　二位　三池労組本所支部　野田　正人
隊組みて進む者等に陽は暑く脊げし舗道に散る紙吹雪

〃　三位　三池労組宮浦支部　高むく　竜生
労働者の未来を信じ差別に耐えんとメーデーのデモ一歩一歩踏み必む

〃　四位　自由労組甘木支部　松本　寿三郎
キューバにラオスに強く今日この日労働者等連帯を誓う

〃　五位　三池労組四山支部　清本　春喜
プラカード高くかゝげし主婦の胸締めつく背の子づれしては抱く

選者＝岡　直指

※選者

佳作　一位　合成労組　坂口　かぶん
背の子もいつしよにうたえメーデー歌

〃　二位　合成労組　井下　武春
スクラムを組んで市長もメーデー歌

〃　三位　合成労組　森　一鳩
前夜祭からメーデーは盛り上り

〃　四位　自由労組甘木支部　鶴留　すえ子
二枚舌ゆれて総理のプラカード

〃　五位　三煉労組　松元　宗男
われて誘つてメーデー盛り上り

【実行委員長賞】
三池労組宮浦支部　高むく　竜生
踏鞴の鐵足を鳴らし労働祭

【西日本新聞社賞】
三池労組本所支部　木下　八重子
幼き映方手を掲げメーデーの旗の中で

佳作　市教組　岡本　武三
メーデーのけふの山河の美しき

〃　自由労組笹林支部　峰　松三
プラカード持つ娘も仲間労働祭

〃　自由労組甘木支部　藤井　すえ子
赤旗を熱風にのせデモの波

〃　三池労組四山支部　永野　定一
メーデーの歩幅の影も地に活きて

〃　三池労組本所支部　中島　穂子
メーデーの顔また顔に汗の未来

〃　三池主婦会四山支部　能勢　まつ子
メーデーの陽に失職の顔焦がす

〃　三池労組宮浦支部　加藤　香月
紙吹雪あびメーデーの列通る

〃　川上　紅陽子
肩叩き合うメーデーの坑夫たち

〃
〃
〃